

令和4年度

「牛乳大好き！絵画コンクール」受賞作品



優秀賞 教育長賞 倉敷市立長尾小学校2年 小野凌太郎
(絵の説明)

ぼくじょうのうしのうえでぼくがおいしいぎゅうにゅうをのんでいる絵をかきました。

現況調査まとめ

乳牛総頭数は14,086頭

令和5年8月1日現在での現況調査を行いましたので、その結果をご報告いたします。組合員の皆様には、ご協力いただき、ありがとうございました。

☆戸数・頭数

乳牛の飼養戸数及び頭数は（表1）のとおり158戸、14,086頭と前年8月に比べ戸数では16戸、頭数では808頭の減少となりました。品種別ではホルスタイン種は12,574頭（708頭減）ジャージー種他は1,512頭（100頭減）でした。

飼養戸数の内訳は、（表2）のとおり関係機関を除く搾乳農家が155戸、育成農家3戸、関係機関4戸です。また、肉用牛飼養農家は44戸でした。

経産牛頭数は10,580頭（316頭減）育成牛頭数は3,506頭（492頭減）。搾乳農家1戸当たりの平均飼養頭数は89.2頭（3.6頭増）、平均経産牛頭数は67頭（4.4頭増）。育成牛率は24.9%となりました。

☆各地区の飼養状況

乳牛飼養総頭数を地区ごとに見ると（表1）西大寺地区が42頭減少、備南地区が236頭減少、びほく地区が5頭増頭、勝英地区が187頭減少、津山地区が213頭減少、真庭地区が135頭減少となりま

した。全体では808頭の減少となっております。

また、育成牛率で全体の平均より高い地区は西大寺、津山、真庭の順となっております。

☆飼養頭数別の酪農家戸数

（表3）の飼養頭数別酪農家戸数をみますと30頭未満の飼養農家は46戸（28.4%）、30頭から49頭の飼養農家は36戸（22.2%）、50頭から79頭の飼養農家は42戸（25.9%）、80頭から149頭の飼養農家は23戸（14.2%）、150頭から499頭の飼養農家は12戸（7.4%）、500頭以上の飼養農家は3戸（1.9%）となっております。

☆哺育素牛・肥育・和牛繁殖関係の頭数

哺育素牛・肥育・和牛繁殖牛の総頭数は8,782頭です。うち哺育農家、肥育農家、和牛繁殖農家の飼養するホルスタイン・F1・和牛等の頭数は7,273頭となっております。

また、酪農家の飼養する和牛・F1等の哺育素牛・肥育・和牛繁殖牛の総頭数は1,509頭です。

☆飼料作付面積

自給飼料の作付面積については、全体で1,542ha、スーダン・ソルゴー、とうもろこし、その他牧草の順でした。

（生産支援課）

乳牛頭数等取りまとめ表(表1)

令和5年8月1日現在

	西大寺	備南	びほく	勝英	津山	真庭	おからく合計
乳牛飼養戸数 (対前年増減)	25 (-3)	23 (-2)	20 (-1)	25 (-3)	29 (-2)	36 (-5)	158 (-16)
乳牛総頭数 (対前年増減)	1,013 (-42)	6,073 (-236)	1,102 (5)	1,848 (-187)	1,472 (-213)	2,578 (-135)	14,086 (-808)
経産牛頭数 (対前年増減)	674 (-29)	4,759 (-32)	865 (50)	1,520 (-80)	989 (-126)	1,773 (-99)	10,580 (-316)
経産牛頭数の 占める割合(%)	6.4%	45.0%	8.2%	14.4%	9.3%	16.8%	
経産牛率(%)	66.5%	78.4%	78.5%	82.3%	67.2%	68.8%	75.1%
育成牛率(%)	33.5%	21.6%	21.5%	17.7%	32.8%	31.2%	24.9%
ホルスタイン種	940	6,067	1,102	1,848	1,458	1,159	12,574
ジャージー種他	73	6	0	0	14	1,419	1,512

※酪大第1牧場及び第2牧場は1農場とする。

おからく現況調査総括表(表2)

令和5年8月1日現在

		西大寺	備南	びほく	勝英	津山	真庭	おからく合計
酪農家戸数	搾乳農家	24	23	20	25	28	35	155
	育成農家	1	0	0	0	0	2	3
	合計	25	23	20	25	28	37	158
関係機関戸数	搾乳農家	1				1	1	3
	育成農家						1	1
	合計	1	0	0	0	1	2	4
酪農場総数 (乳牛飼養戸数)	搾乳農家	25	23	20	25	29	36	158
	育成農家	1	0	0	0	0	3	4
	合計	26	23	20	25	29	39	162
肉用牛飼養農家戸数		2	6	6	11	15	4	44
総農家戸数(関係機関を含む)		28	29	26	36	44	43	206
ホルスタイン頭数	6ヶ月未満	61	237	58	84	98	83	621
	6～24ヶ月	249	1,027	154	244	377	294	2,345
	24ヶ月以上	630	4,803	890	1,520	983	782	9,608
	合計	940	6,067	1,102	1,848	1,458	1,159	12,574
	うち経産牛頭数	621	4,755	865	1,520	982	768	9,511
ジャージー他頭数	6ヶ月未満	5	0	0	0	1	96	102
	6～24ヶ月	15	2	0	0	6	297	320
	24ヶ月以上	53	4	0	0	7	1,026	1,090
	合計	73	6	0	0	14	1,419	1,512
	うち経産牛頭数	53	4	0	0	7	1,005	1,069
乳用牛総飼養頭数		1,013	6,073	1,102	1,848	1,472	2,578	14,086
経産牛頭数		674	4,759	865	1,520	989	1,773	10,580
乳用牛1戸当たり飼養頭数		40.5	264.0	55.1	73.9	50.8	71.6	89.2
乳用牛1戸当たり経産牛頭数		27.0	206.9	43.3	60.8	34.1	49.3	67.0

※酪大第1牧場及び第2牧場は1農場とする。

地区別酪農家戸数(育成農家・関係機関を含む)(表3)

令和5年8月1日現在

	平均年齢	飼養頭数別酪農家戸数													
		1～9	10～19	20～29	30～39	40～49	50～59	60～79	80～99	100～149	150～249	250～499	500～999	1000～	計
西大寺	66.7	3	2	5	6	2	5	1	0	2	0	0	0	0	26
備南	53.3	0	1	2	3	2	3	2	0	3	3	1	2	1	23
びほく	59.8	2	2	8	3	1	1	0	0	1	0	2	0	0	20
勝英	55.0	0	0	4	2	6	4	1	2	4	1	1	0	0	25
津山	54.7	1	2	5	4	1	6	4	3	2	1	0	0	0	29
真庭	53.0	3	3	3	3	3	5	10	2	4	2	1	0	0	39
合計	57.1	9	10	27	21	15	24	18	7	16	7	5	2	1	162

※酪大第1牧場及び第2牧場は1農場とする。

中販連 良質生乳出荷者表彰

中販連管内5県による統一乳質評価基準において、令和4年度良質生乳出荷表彰授与式が8月8日に開催されました。台風の接近と収穫作業もあり、参加者は少人数となりましたが、おからく管内では4名の方が受賞されました。

受賞者を代表し、2年連続最優秀賞を受賞された広酪の溝上牧場様より、「受賞に至った要因は決して一人ではできない、周囲のサポートの賜物。また、酪大の卒業生2名を従業員として雇っているが酪大の教育のおかげでスムーズに仕事をこなし、良質乳生産につながっている。酪大に感謝をしたい」と述べられました。

また、ジャージー部門では酪農大 学校第2牧場様が最優秀賞を受賞され、「酪大を卒業した教え子が酪農現場で働き、その中でお褒めの言葉をいただけることが何よりも感慨深い。乳質はまだですが、2年後にはホルスタイン農家の数字に肩を並べられるよう努力していく」と述べられました。

大変おめでとうございます。受賞者一覧については別表をご覧ください。

(事業本部)

ホルスタイン部門

年間乳量250 t 未満の部

高梁市 鈴村 久治 様 最優秀賞 3,760点
(FAT平均4.23% SNF平均9.05% 体細胞平均7.5万 細菌数平均0.5万)

年間乳量250 t ~500 t 未満の部

倉敷市 三宅 安史 様 優良賞 3,660点
(FAT平均4.13% SNF平均8.90% 体細胞平均5.3万 細菌数平均0.6万)

ジャージー部門

真庭市 (公財)中国四国酪農大 学校第2牧場 様 最優秀賞 2,910点
(FAT平均5.19% SNF平均9.59% 体細胞平均11.9万 細菌数平均1.5万)

真庭市 丸山 弘一 様 優秀賞 2,870点
(FAT平均5.48% SNF平均9.62% 体細胞平均15.6万 細菌数平均1.9万)



第2部門 250 t ~500 t 未満 優良賞
倉敷市 三宅 安史 牧場



第1部門 250 t 未満 最優秀賞
高梁市 鈴村 久治 牧場



第5部門 ジャージー 優秀賞
真庭市 丸山 弘一 牧場



第5部門 ジャージー 最優秀賞
(公財)中国四国酪農大 学校第2牧場

令和4年度良質生乳出荷者表彰 表彰者一覧

中国生乳販売農業協同組合連合会

部 門		組 合 名	農家名	区分	得点合計	
1部	ホルスタイン部門	1	おかやま酪農業協同組合	鈴 村 久 治	最優秀賞	3,760
2部	ホルスタイン部門	2	大山乳業農業協同組合	加 藤 より子	最優秀賞	3,800
3部	ホルスタイン部門	3	広島県酪農業協同組合	(株)溝上牧場	最優秀賞	3,900
4部	ホルスタイン部門	4	大山乳業農業協同組合	(株)ナカムラファーム	最優秀賞	3,790
5部	ジャージー部門	5	おかやま酪農業協同組合	(公財)中国四国酪農大第2牧場	最優秀賞	2,910
6部	ホルスタイン部門	6	大山乳業農業協同組合	鳥取県立倉吉農業高等学校	最優秀賞	4,120
1部	ホルスタイン部門	1	島根県農業協同組合	久 家 要 一	優秀賞	3,760
2部	ホルスタイン部門	2	大山乳業農業協同組合	別 所 昌 治	優秀賞	3,790
3部	ホルスタイン部門	3	大山乳業農業協同組合	高 間 理 拓	優秀賞	3,850
4部	ホルスタイン部門	4	大山乳業農業協同組合	川 本 和 昭	優秀賞	3,510
5部	ジャージー部門	5	おかやま酪農業協同組合	丸 山 弘 一	優秀賞	2,870
1部	ホルスタイン部門	1	広島県酪農業協同組合	井 上 正 芳	優良賞	3,750
		2	島根県農業協同組合	木次乳業 吉田牧場	優良賞	3,430
		3	大山乳業農業協同組合	河 本 道 広	優良賞	3,390
		4	大山乳業農業協同組合	荘 司 健 司	優良賞	3,260
		5	広島県酪農業協同組合	大 田 昌 晴	優良賞	3,250
		6	広島県酪農業協同組合	石 井 和 久	優良賞	3,230
		7	広島県酪農業協同組合	田 辺 光 次	優良賞	3,160
		8	山口県酪農業協同組合	富 永 貴 之	優良賞	3,140
2部	ホルスタイン部門	1	大山乳業農業協同組合	板 持 悦 夫	優良賞	3,775
		2	大山乳業農業協同組合	影 井 正 美	優良賞	3,740
		3	おかやま酪農業協同組合	三 宅 安 史	優良賞	3,660
		4	広島県酪農業協同組合	福 原 美 江	優良賞	3,610
		5	広島県酪農業協同組合	溝 辺 康 太	優良賞	3,550
3部	ホルスタイン部門	1	大山乳業農業協同組合	真 山 秀 樹	優良賞	3,460
		2	大山乳業農業協同組合	秦 野 英 作	優良賞	3,410
		3	大山乳業農業協同組合	合同会社 三浦牧場	優良賞	3,350
4部	ホルスタイン部門	1	大山乳業農業協同組合	西 山 友 之	優良賞	3,460

農場経営成功の第一歩！代用乳と哺育管理について

全国酪農業協同組合連合会 大阪支所 中四国事務所 伊藤 舞優

はじめに

はじめまして。今年度より全酪連に入会し、6月から中四国事務所に配属となりました、伊藤舞優（いとうまひろ）と申します。この場をお借りして少し自己紹介させていただきます。

京都出身の両親のもとに生まれ、高校までを千葉県で過ごし、大学と大学院の6年間は東京で一人暮らしをしていました。大学では作物保護に関わる研究室に所属し、野生動物による農作物被害、いわゆる獣害について研究していました。酪農については初心者ですが、今後ともよろしく願いいたします。

さて、全酪連に入会後、蒜山での実習を含めさまざまな研修を行いました。今回はその中で学んだ「代用乳と哺育管理」についてお話しさせていただきます。私なりに重要な点や興味深い点をまとめましたので、拙い文章ではありますが、最後までお読みいただくと幸いです。なお、哺育管理には初乳給与も重要となりますが、今回は代用乳のみの説明とさせていただきます。

哺育管理の重要性

哺育管理は、子牛の死亡率と農場の生産性に関わるため非常に重要です。出生子牛の約4%は、下痢や肺炎などで生後2ヶ月以内に死亡しており、適切な哺育管理ができれば、子牛の死亡率を減らし、初産から遺伝的能力を十分に発揮させることで、酪農経営の利益向上に貢献できます。

子牛の生理

反芻動物である牛は4つの胃袋をもち、特に第1胃は胃の約80%を占めるほど発達しています。(図1)しかし、離乳前の子牛は第4胃が約60%を占めており、第1胃の絨毛は固形飼料の摂取によって発達します。このように、子牛と成牛では消化器官や消化可能な栄養源が大きく異なるため、子牛に適した飼養管理が必要です。

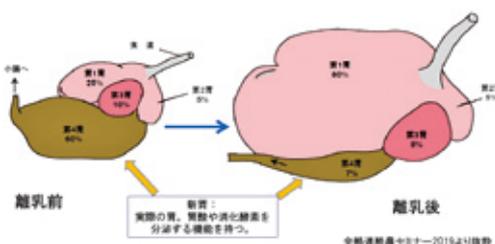


図1 離乳前後の胃の形

代用乳の原料

代用乳の主な原料は、生乳由来蛋白質（カゼイン蛋白、ホエー蛋白）、植物性蛋白質、エネルギー源（油脂、炭水化物）です。特に、子牛は摂取エネルギーを油脂に頼る部分が多く、牛の一生のうち哺乳期間が最も高い割合で飼料中から油脂を摂取します。そのため、代用乳の油脂原料は、子牛の消化吸収に適したものであることが重要です。また、子牛の炭水化物由来のエネルギー源は乳糖に大きく依存していますが、乳糖の過度な摂取は浸透圧によって体液が腸管内に流入し、下痢を引き起こす可能性があります。子牛が1日に消化吸収できる乳糖は約400~500gであるため、乳糖が多すぎる（濃度が高すぎる）代用乳には注意が必要です。

全酪連の代用乳

全酪連では、1950年頃から国内初の代用乳を供給し、これまでにさまざまな哺育製品を供給してきました。

全酪連の代用乳の特徴は、その製造方法にあります。代用乳の製造方法は一般的に「ドライ方式」と「ウェット方式」の2種類があるとされ、全酪連ではウェット方式（+フィルターマット）を採用しています。

ドライ方式とは、基材（脱脂粉乳など）へ油脂を直接吹き付ける方法で、油脂が露出しているためべたつきやすい場合があります。

一方で、ウェット方式は、乳化した油脂

日齢	1日給与量	回数	1回の給与量	回数
1	400g	2回	1.0リットル	2回
2	200g	1.5回	1.0リットル	2回
3	500g	2回	2.0リットル	2回
4	250g	1.5回	1.0リットル	2回
5				

製品名	乳成分	粗タンパク質	粗脂肪	粗繊維	乳糖	リン	カルシウム	TDN
カ-トップ	24.0	21.0	1.0	8.0	0.60	0.40	110.0	

全酪連の代用乳製品

の表面を基材でコーティングしているため、べたつきが少なく、融点が高い油脂（＝消化吸収されやすい）を使用することができます。また、ホモジナイズ処理によって油脂を細かくしており、脂肪球が小さく、消化吸収に優れた製品となっています。さらに、全酪連ではフィルターマット方式を取り入れることによってさらなる製品品質の安定性を図っています。

ウェット方式で製造した代用乳は、サラサラとした状態を保つため、自動哺乳機でも固まらず正確な計量が可能で、沈み込みやすく短時間の攪拌でも溶解するといった、物理性や作業性にも優れています。

全酪連の代用乳製品である「カーフトップ」は、消化性の良い中鎖脂肪酸をエネルギー源とし、全卵粉末を添加することで子牛の腸内環境の維持も期待できます。ウェット方式で製造しているため、油脂がべたつかず、消化性と作業性の両面を兼ね備えた製品となっています。

離乳までの管理

全酪連が推奨する哺育プログラム（標準哺育）は以下のとおりです。まず、離乳までの子牛の管理として、カーフトップを朝夕200～250g（1日400～500g）給与します。哺乳は定時・定温・定濃度を基本とし、清潔な哺乳器具を使って細菌感染を防ぐことが重要です。また、哺乳しながらも水が自由に飲める状態にし、食道溝反射の状態が終わる哺乳の30分後から飲水させます。



ミルクのみで管理 ミルクと粗飼料で管理 ミルクと配合で管理

ペンシルバニア州立大学普及所

前述したとおり、子牛のルーメン発達には、固形飼料（スターター）が必要です。（図2）全酪連のスターター「ニューメイクスター」では、利用効率の高いルーメンバイパス蛋白質を使用しており、嗜好性も高く子牛の食いつきも安定しています。また、スターターを優先給与しつつ、同時期に乾草も少量ずつ与え、消化性の良い乾草を日齢とともに徐々に量を増やしていきます。離乳目安は42日齢以上（最低でも30日以上）の哺乳）とし、スターターを3日連続1kg以上摂取できれば離乳となります。

図2 ルーメン発達の比較（6週齢）



おわりに

今回は、代用乳と哺育管理について簡単にお話しさせていただきました。全酪連では代用乳の他にもさまざまな哺育育成製品を供給しております。詳しくは全酪連職員へお問い合わせください。

最後までお読みいただきありがとうございました。今後ともよろしくお願いたします。



インボイス制度導入で注意すること

10月1日から導入されるインボイス制度に不安を感じている方も多いと思います。今月号では、インボイス制度によって、消費税の納税額が増えるケースを紹介します。納税額の計算を本則課税で行っている方が該当します。(簡易課税で行っている方、免税事業者の方は該当しません)

1. 消費税の計算 (本則課税)

事業者が税務署に納める消費税額は、「売上に係る消費税額」から「仕入に要した消費税額」を控除して計算されます。この仕組みを『仕入税額控除』といいます。

(例) 売上……生乳、子牛など	21,600千円(うち消費税1,600千円①)
仕入……飼料代、薬品代、繁殖技術費、削蹄費など	16,500千円(うち消費税1,500千円②)
納める消費税額……売上に係る消費税 - 仕入に要した消費税	1,600千円① - 1,500千円② = 100千円

2. インボイス制度が導入されると

仕入先からインボイス(※1)の交付を受けないと『仕入税額控除』ができなくなりました。

そのため、仕入先が「インボイス発行事業者(※2)」かそうでないかで、納める消費税の額が変わってきます。なお、『仕入税額控除』については6年間の経過措置(※3)があります。

(例) 売上……生乳、子牛など	21,600千円(うち消費税1,600千円①)
仕入……飼料代、薬品代、繁殖技術費、削蹄費など	16,500千円(うち消費税1,500千円=②+③)
うち インボイスあり(仕入税額控除 可)	11,000千円(うち消費税1,000千円②)
うち インボイスなし(仕入税額控除 不可)	5,500千円(うち消費税 500千円③)
納める消費税額……売上に係る消費税 - 仕入に要した消費税	1,600千円① - 1,000千円② = 600千円 (③は控除できない)

インボイス制度が導入されたことによって、100千円でよかった消費税の納税額が600千円になります。

3. 仕入先の確認

飼料や薬品などの購入、受精卵移植や人工授精、削蹄などの依頼をするときは、購入先や依頼先が「インボイス発行事業者」かそうでないかを事前に確認することが大切になります。

おからは「インボイス発行事業者」です。組合員の皆さんとの取り引きで交付するインボイスの様式などについては、組合だより「おからく10月号」でご紹介いたします。

(総務部)

※1 インボイス (適格請求書)

売り手が発行する一定の記載要件(①~⑥)を満たす請求書や領収書、レシートなどをいいます。

- ①適格請求書発行事業者の氏名または名称及び登録番号
- ②取引年月日
- ③取引内容(軽減税率の対象品目である旨)
- ④税率ごとに区分して合計した対価の額(税抜または税込)及び適用税率
- ⑤税率ごとに区分した消費税額等
- ⑥書類の交付を受ける事業者の氏名または名称

※2 インボイス発行事業者

税務署へ申請して登録番号の交付を受けた事業者を「インボイス発行事業者」といいます。申請できるのは消費税を納めている課税事業者になります。ですから、免税事業者は「インボイス発行事業者」になれません。また、課税事業者であっても税務署に登録番号の交付を申請していないとインボイスを発行できません。

※3 経過措置

組合だより「JAおからく8月号」6ページの『適格請求書等保存方式(インボイス制度)の開始 5. 経過措置』を参照ください。

「供卵牛情報と採卵計画（10月分）」について

岡山県農林水産総合センター 畜産研究所

10月の採卵計画をお知らせします。

ご利用の場合やより詳細な情報が必要な場合は、最寄りの家畜保健衛生所、受精卵移植師の方等にご相談ください。

なお、能力評価を牛群検定成績から行うため、検定参加農家の方を譲渡対象としています。

また、採卵予定日や交配予定種雄牛は牛の体調・精液の確保状況等により、急遽変更になる場合がありますので、あらかじめご了承ください。

今回の11月の採卵は9日を予定しております。

※ご要望・ご意見等ありましたら、畜産研究所までご連絡ください。

交配情報	供卵牛の遺伝能力評価等	採卵予定日
<p>♀：OAC キアリス ハイヌーン キリア キヤロットK ET (キヤロットK) 1354972012</p> <ul style="list-style-type: none"> ・名牛「コスモポリタン」の系統 ・体型・能力ともに兼ね備えた才色兼備型 ・娘牛にも高NTP牛多数輩出 	<p>GEBV</p> <p>総合指数 1% 2891</p> <p>長命連産効果 2% 105872</p> <p>産乳 1% 2232</p> <p>乳代効果 2% 125897</p> <p>耐久性 1% 639</p> <p>疾病繁殖 49% 20</p> <p>年齢 05-09 体高 163.1cm 体長 179.7cm</p>	10/12
<p>♂：ピーク アルタ アミツク ET (ヤングサイア)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・乳量は平均並みだが、高生産寿命、高い娘牛妊娠率、低い体細胞数など管理形質が◎！特に乳房炎抵抗性が非常に高い！ 	<p>GPI</p> <p>総合指数 1% 3253</p> <p>長命連産効果 1% 143667</p> <p>産乳 1% 2454</p> <p>乳代効果 1% 107277</p> <p>耐久性 1% 667</p> <p>疾病繁殖 7% 132</p> <p>年齢 02-03 体高 156.4cm 体長 173.2cm</p>	
<p>♀：OAC キリア ザズル キキ キヤロットK ET (キヤロットK) 1390973127</p> <ul style="list-style-type: none"> ・上記キリアの後継牛。 ・大柄ではあるが、機能的な体型！ ・非常に高い乳脂肪量などと低い体細胞数スコア！ 	<p>♂：クツキー カッター ホーリースモークス ET (ヤングサイア)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大柄な種雄牛で、体型、特に乳器の改良に貢献！ ・高い脂肪量かつ高泌乳！ 	

※GEBV：EBV+ゲノミック、GPI：ゲノミックのみの評価値です。



全国酪友フォーラム2023開催

全国酪農青年女性酪農発表大会は令和4年に50回目が開催され、1つの区切りを迎えました。ここで50回を振り返り、大会の魅力・意義などを再確認するとともにコロナ禍で活動が制限されていた酪青女活動を再び活気あるものにするため、例年の発表大会に代わり、7月13日に「全国酪友フォーラム」が、北海道札幌市「札幌パークホテル」において開

催され、全国から約300名の参加がありました。

まず、第1部では過去の経営発表者による現況報告が行われ、西日本酪青女からは第35回全国大会で発表された徳島県の大松弘美さんが「仲間を支えられて、今がある。そして、これからも大丈夫！」と題して発表されました。

第2部は地域酪農青年女性会議の活動報告でした。西日本酪青女からは鳥取県の吉田裕美さんが製作された絵本「こんにちは もーちゃん」の朗読と、広酪オリジナル「牛乳そんぐ」を紹介しました。

第3部はラジオパーソナリティの石川實氏をコーディネーターに迎え、パネルディスカッションが行われました。

懇親会では、アトラクションで大いに盛り上がり、盛会のうちに終了となりました。コロナ禍で活動が制限されていた酪青女活動を再び活気あるものにする」という大会コンセプトのとおり、全国の酪友との再会を喜び、懇親を深め、また今後の活動の糧となるフォーラムでした。

(生産支援課)



西日本酪青女の皆さん

びほく青年部視察研修

7月26日、子どもたちの夏休みに合わせて、「びほく青年部視察研修（家族親睦会）」をオハヨー乳業にて行いました。

学校が夏休みとあって子どもたちを含め総勢20名の参加となりました。オハヨー乳業櫻井課長をはじめ山本様、稗島様より製品また工場の説明をしていただきました。

場内では、集乳車、送乳車の受乳場、製造ラインを見学させていただきました。普段では見られない場所だけに、皆さん真剣な眼差しで見学され、自分たちが搾った生乳が製品になることから今以上に牛舎の環境、搾乳時の衛生管理の徹底を再認識されていました。

見学終了後は、ジャージー牛乳を



説明を聞く参加者



製造ラインに釘付け

使用した出来立てで完全に固まっていな状態のソフトクリームをごちそうになりとても美味しかったです。

皆さん生乳出荷をされていることもあり、受入検査はどのような検査をしているのか、受入検査で気を付けていること、給食で余った牛乳の処理はどうしているかなど質問をされ、とても有意義な時間が過ごせました。

オハヨー乳業の方々には、お忙しいところ大変お世話になり、ありがとうございました。

また、今後ともびほく青年部の活動にご参加いただきますようよろしくお願いたします。

(びほく事務所)

加茂料理教室

7月27日、津山市加茂町福祉センターで、牛乳を使った料理教室を「ふれあい料理倶楽部」の方を対象に、津山地区酪農女性部にお手伝いいただき開催しました。「ふれあい料理倶楽部」は、65歳以上の高齢者を対象に、毎月1回料理を作り、互いに交流を深められています。今までも毎年7月に講師依頼があり、牛乳製品を使った料理を作ってきました。

今回のメニューは、『さば缶チーズごはん』『カレー風味の炒りおから』『豚肉ソテーのみるく生姜あんか



調理風景

『さば缶チーズごはん』は、材料も少なく味付けはさば缶詰(みそ煮)だけ。『カレー風味の炒りおから』は、牛乳とカレー粉で減塩になる料理です。牛乳とカレー粉?と思われるかも知れませんが、以外と美味しいです。おからが嫌いな人でも、カレー味だと食べられるかも。『油揚げのチーズはさみ焼き』は、簡単に作れて、ご飯のおかず・酒の肴にもなります。『豚肉ソテーのみるく生姜あんかけ』は、牛乳からカルシウム・小松菜から鉄が摂れるヘルシー料理です。『ヨーグルト白玉』は、



出来上がり!食べるのが楽しみ

水の代わりにヨーグルトを使って白玉粉をこねます。甘いシロップをかけてもいいし、サイダーをかけても美味しくていただけます。

今年も、昨年同様に試食はせず持ち帰りたいだったので、食べた感想は直接お聞きできませんでしたが、「さば缶チーズごはんは、簡単に作れるので家でも作ってみるわ」「おからに牛乳を入れる?どんな味になるのかな?」「おからがカレー味だ

勝英女性部全体交流会

7月28日、「勝英女性部全体交流会」が、奈義町『さわ』で開催されました。

今回の交流会は、日頃から忙しく



懇親会風景

と、子どもたちも食べてくれるかも」等の声が聞けました。

今後、いろいろな活動を通して牛乳の消費拡大を行っていきたいと思います。

熱中症予防に牛乳が効果あると言われています。牛乳を飲んで、暑い夏を乗り切りましょう。

レシビは、生乳課までお問い合わせください。

(生乳課)

されている皆様に心身ともにリフレッシュしていただこうと、計画しました。

交流会では、今後の勝英女性部の活動についても話し合わせ、部長には福田さんが就任し、今後の活動として年一回の交流会の開催、共進会での牛乳販売等があげられました。

今回の参集範囲は、勝英地区で酪農に従事されている女性で、当日欠席の方もおられました。酪農家に参加していただきました。酪農家の女性は大変で、なかなか会う機会が少なく情報交換の場はありがたいなどお聞きしたので、今後も交流会を計画していこうと思います。

(津山事務所)

備前地区女性部研修会

ようやくコロナから解放され(?)、少しずつ活動を始めている備前地区女性部ですが、8月2日、「ルピナス会」を、JA晴れの国岡山鴨方支店の会議室において開催しました。

夏休み中なので、今回は子どもさんの参加も可能とし、誰でも簡単にできるポーセラーツを体験しました。

ポーセラーツは、真っ白な陶器に転写紙を貼って焼き付け、オリジナルの陶器を簡単に作ることができるハンドクラフトです。



ポーセラーツの説明中



完成しました！

み…。思った以上に悩む時間が長く、あっという間に時間が経ってしまいました(笑)

準備の関係で、今回は全員同じ陶器を使って行いましたが、出来上がりの雰囲気はさまざまで、それぞれに素敵な作品となりました。焼き上がりがとっても楽しみです。

ご参加くださった皆様、ありがとうございました。今後もしっかり活動を続けていけたらと思っていますので、よろしくお願いたします。

(備前事務所)

女性部フレッシュコミュニケーションズ交流会

8月2日、「女性部フレッシュコミュニケーションズ交流会」が、本所3階において開催されました。

今回は備前地区の守時さんが講師としてネイルを教えてくださいました。1人1本ネイルをしてもらい、同時に大森さんがネイルオフの仕方を実践で教えてくださいました。

「左手は直検するからやめておろ方がいよいよね」「手袋が破けるのかな」とか、ネイルが終わった後の手を見て「綺麗」「かわいいね」「どんな色にしたの」と酪農に携わっているからこその会話ができていたり、笑顔あふれる楽しい会になったのではないかと感じました。



ネイルのようす



完成したみんなのネイル

また、宮野監事からアイスの差し入れをいただき、みんなで和気あいあいと話をしながら美味しくいただきました！みんなで食べるアイスは一段と美味しく感じました。お心遣いありがとうございました。

酪農家さんにとってまだまだ苦しい状況は変わらず大変な時期が続いておりますが、1日の中でどんなに小さなことでも楽しみや充実感を感じられるよう私自身も日々の業務を頑張っていきたいと思えます。

最後になりましたが、今回講師をしてくださった備前地区の守時様、大森様、長い時間にわたりありがとうございました。

(津山事務所)

備南地区青年部交流会

8月3日、備南地区青年部は交流会として、倉敷市沙美海岸において、海水浴を実施しました。

牧草の収穫等で忙しい時期の実施ながら、大人と子どもを合わせて総勢16名の方が参加してくださいました。



思い思いの過ごし方で

子どもたちは、気に入った浮き輪を持って海に入ったり、スコップやバケツを使って砂浜で砂遊びをしました。それぞれの楽しみ方で遊んでいました。大人の方は、子どもと一緒に遊んだり、普段なかなか交流が難しい農家さん同士で、話に花を咲かされたりしました。休憩時間には、海の家で食事をしたり、かき氷を食べ、とても好評で美味しかったと言



割れるまで何度でも挑戦！

われていました。

海水浴の最後にはスイカ割りも行われ、子どもたちが交代しながら周りの声援を受け、スイカを割ろうと頑張ってくれました。その後、割ったスイカをみんなで切り分けて食べ解散となりました。

記録的な猛暑の中で、体調面には十二分に気を付けながらの海水浴となりましたが、何事もなく終わり、とても良い交流会となりました。

今後とも備南地区青年部の活動にご参加くださいますよう、よろしくお願いたします。

(備南事務所)

笑味ちゃん天気予報がやってきた！

(RSKテレビ) 月々金 18時50分より

7月31日の笑味ちゃん天気予報『担い手紹介のコーナー』で、津山市の中村宏之さんが紹介されました。

中村さんは約10年前に実家の牧場で酪農を始められ、約50頭を飼養しておられます。

飼養牛の日々の管理のほかに、牧場の隣にある約10haの農地で飼料用の稲や牧草の生産もされています。

ご自身で作っているWCSは安心して牛に与えられ、飼料高騰の影響も抑えられているとのことでした。



中村さん、ありがとうございました！

また、「酪農を通して地域にも何か貢献できたら、巡りめぐって自分のためにもなると思う」と話されていました。

取材当日はすっかり真夏の天気でしたが、猛暑の中、古米リポーターのインタビュアーに一つ一つ丁寧に笑顔で答えられるようすがとても印象的でした。

中村さんの今後のご活躍を応援しております。

(生乳課)

番組では、曜日によりテーマを決めて放送しています。

・月曜日 担い手・JA職員紹介・

高校生の紹介

・火曜日 農畜産物の紹介

・水曜日 火曜日に紹介した農畜産物を使った料理の紹介・

栄養士による料理・栄養

等の紹介

・木曜日 JA活動紹介・市町村の

紹介

・金曜日 直売所・イベント紹介

搾乳等お忙しい時間帯の放送になります

観てください。また、取材にもご協

力くださいますようお願いいたします。

す。

ひろば

私の推し

西大寺事務所 向井扶祐美

皆さんは歌い手の「Ado」をご存知でしょうか。一度は聞いたことがあるかもしれません。2020年にリリースされた自身のデビュー曲「うっせえわ」で大ブレイクした歌い手です。「うっせえわ」はおよそ1ヶ月で総再生回数500万回を突破、日本レコード大賞にて特別賞を受賞するなど、一気にその名を世に広めました。

自身のYouTubeチャンネル登録者数は11万人から急増



し、翌年の2月には100万人を突破しました。2022年には米国のゲフィン・レコードとパートナーシップを締結し全米デビューが決まり、現在ではチャンネル登録者数が520万人にも及びます。「Ado」は2017年に歌ってみたをニコニコ動画に投稿し、歌い手としての活動を始めました。そして2020年、メジャーデビューした当時はまだ現役高校生で18歳でした。とても18歳とは思えない歌唱力と表現力で人々を圧倒させました。

私が「Ado」の存在を知ったのは2019年で、彼女がデビューするおよそ1年ほど前でした。私は当時アプリで一般の方が歌った曲を聴いていて、そこできろいろな人の歌った曲を聴いていると、特定の曲で独特な歌い方(アレンジ)をしている人が多数いました。私はそれを疑問に思い、何なのかと調べたことが始まりでした。原曲を知らなかったため、まずはその曲を聞きました。なぜあの歌い方に至ったのかはわからず、さらに調べてみたところ、たどり着いたのが「Ado」でした。みんなはこの歌い手の歌い方を真似していたのか、と興味本位で聴いたところ、私はその瞬間彼女の

歌声に惚れ込み、即座にYouTubeのチャンネル登録をしました。私はそれまで「歌い手」という存在に全く興味がなかったのですが、その曲を聞いたことで彼女に一瞬で魅了されファンになりました。私が「Ado」に魅了された曲はボカロPのsyudouが作詞作曲をした「邪魔」という曲で、彼女がこの曲をカバーしたのは16歳の時でした。私より年下だとは思えない歌唱力、誰にも真似できない力強いがなり声、彼女自身の独特なアレンジ・表現力に驚きを隠せませんでした。しかし、

私が魅了されたのは歌だけではなく、歌っている時のイメージとは裏腹な性格にギャップを感じ、そこも彼女の魅力の一つだと感じました。私が「Ado」のYouTubeチャンネルに登録した時、登録者数は8万人ほどでした。そこからメジャーデビューを果たした時、チャンネル登録者数100万人を突破した時、海外進出が決まった時：すべてを見てきました。「Ado」の2cdライブ「カムパネルラ」では、彼女の1番の夢だった「さいたまスーパーアリーナでライブをすること」が叶う瞬間を目の当たりにしました。

そして、8月に開催されたライブツアーの広島公演に参戦した際、彼女の新たな夢を知り、その夢が叶うのを見届けていきたい、これからはずっと見ていたい。そう思いました。



私は熱しやすく冷めやすいことがあり、芸能人やアイドルを好きになってもすぐ冷めたりするタイプでした。なので、ライブに行ったりファンクラブに入ったりなど、特定の誰かをこんなにも長く推しているのは初めてで、飽き性な私の性格をよく知っている親にも驚かれるほど「Ado」のことが好きになりました。彼女のファンになって4年、これからもどんどんライブに参戦し、グッズ等をしこたま買い、歌い手の「Ado」を推し続けていきます！
推しに貢献することはオタクの本望！推しの幸せは私の幸せ！推しは推せる時に推せ〜！

酪大フィールド研修

安藤 大悟（総務部経営支援課）

中国四国酪農大高校にて、酪農フィールド研修へ参加させていただきました。5日間の研修では講義の受講と牧場実習を行いました。講義では、搾乳理論、飼養管理学、飼料作物、飼料学、家畜繁殖学、家畜衛生、ふん尿処理、生乳流通・酪農の現状と様々な内容を幅広く受講しました。

実家が酪農業を営んでいます、私自身は手伝いといっても餌やりや子牛の哺乳を休日に少しだけといった程度で、乳牛に対する専門的な知識も技術も、おからくへ入組した当初はほとんどありませんでした。なので、今回の研修で酪農業という専門分野の初歩ではありますが、基礎となる知識や技術を勉強できたことはとても意義がありました。また、それぞれの講義が乳牛のこういった事柄に関係しているかを体系的に教えていただけたので、自分の持っていた知識とすり合わせることもできました。

特に勉強になったのが、搾乳理論、飼料学、家畜繁殖学でした。搾乳理論では、搾乳とはミルカーを装着すれば搾れるかと思っていたのですが、前搾りという工程で、汚染乳の

除去やオキシトシンというホルモンを分泌させて生乳を出させていることを知り驚きました。

飼料学では、粗飼料と濃厚飼料の役割や特徴、第一胃であるルーメンの機能について学びました。人間では消化できない植物性繊維をルーメン内のバクテリアによって分解してエネルギーに変えることが興味深かったです。

家畜繁殖学では、生乳生産にとって重要な乳牛の繁殖サイクル、繁殖の改善が経営に与える影響についてなど大変勉強になりました。

牧場実習では、ホルスタイン種を飼養しているストール式の第一牧場、ジャージー種を飼養しているフリーストール式の第二牧場にて実習を行いました。パイプライン方式では牛がいる場所へ人が移動しての搾乳なので、腰を何度かががめて、機械を都度取り付ける作業を行いながら、毎日休まず搾乳されている酪農家の方のご苦労をわずかですが実感を持って経験することができました。ミルキングパーラー方式では牛が人のいる場所へ移動しての搾乳なのですが、牛舎から待機場へたぐさんの牛を追いつき、パーラーに入ってくる多くの牛を搾乳し続ける

といった別の大変さもありました。実習では酪大の学生の方からとても丁寧で分かりやすい指導をしていただけました。

最後になりますが、研修期間中ご指導いただいた酪農大高校の先生や学生の方々には大変お世話になりました。今回の研修で学んだことを忘れず、知識と経験を今後の業務でさらに深めていき、少しでも農家の方のお役に立てるよう努力し精進してまいります。この度は誠にありがとうございました。

田中 天（鏡野CS）

今回、酪大フィールド研修に参加させていただき、座学や実習で多くのことを教えていただきました。座学では、搾乳理論、飼養管理学、飼料学、家畜繁殖学などさまざまな幅広い専門的なことを学びました。私の業務では触れる機会の少ない内容が多くあったので、すごく新鮮でした。

搾乳理論では、搾乳をするときの手順や前搾りのやり方・重要性などを教えていただき、実際に模型を使って前搾り、ミルカーの装着をしました。前搾りは教員の方がやっているのを見ると簡単にやっているように見えたのですが実際にやってみると全然うまくいかず、何回も繰り返し



難しかった前搾り

しやって何とかできるようなりませんでした。ミルカーの装着では、つけるときの注意点やつける順番などを教えてもらい、数回実践してつけるときに失敗するとどうなるかなど教えていただきました。

飼料学では、飼料の種類、特性、与えるときのバランスなどを学びその中で、現状の農家の経営難の問題の一つである飼料高騰を数年前の状況と今の状況を比較して教えていただき、現状どれだけ苦しい状況なのかを知ることができました。

第一牧場はホルスタインのつなぎ牛舎で、ミルクカーをつながれている牛のところへ運んで、学生の方に教えてもらいながら乳房の汚れを取り、

いけるよう精進していこうと思います。

杉本 祐太（鏡野CS）

前搾りをしてミルクカーを取り付ける体験をしました。座学の時に模型でやったのとは勝手が全く違って、身じろいだり、蹴られたりして思うようにいかなかったですが、学生の方にサポートしてもらいながらなんとか搾乳をしました。その時に、牛が嫌がるときは牛が触れない尻尾の付け根を搔いてあげるとおとなしくなると、実際の現場でしか聞けないようなことも教えていただきました。次に第二牧場はジャージーのフリーストール牛舎でした。第一牧場とは全然違うやり方で牛を追って1ヶ所に集めて搾乳をする場所

この度、中国四国酪農大のフィールド研修に参加させていただきました。研修での5日間で、座学による酪農の基礎となる分野について学びました。また朝晩の実習では、牛舎での搾乳実習を行いました。講義の中で特に印象に残ったのは、飼料学、飼養管理学です。飼料学では、粗飼料と濃厚飼料のそれぞれの特徴と役割などについて学びました。飼料を与える時間の間隔や量、配合などによって生産性が大きく変わり、乳牛の成長段階によっても日々対応させていかなければならないということを知りました。講義の中での芦田先生の「生産性を確保するために一本橋を渡っている。常に手が離せない」という言葉は、強く印象に残りました。

で、ほぼ全てのやり方が第一牧場とは違い苦労しました。他には、糞尿処理やおがの補充などの牛の世話の体験や配合飼料の作る手伝いなどもさせてもらいました。

飼養管理学では、カウコンフォートについて実際に第一牧場の牛舎を見ながら快適性について考えていきました。暑熱対策などは想像できていましたが、その他にも飼槽や水槽、つなぎ方など細かい点にまで気を配らなければいけないことに驚きました。快適な牛床で横臥を促すことが乳量を増やすことにもつながる

今回の研修で、私が知らなかった数多くの知識や現場に行ってみないと分からないことなどさまざまなことを知ることができた貴重な経験となりました。最後になりましたが、今回の研修に関わってくくださった方々に感謝申し上げます。この研修で得た知識を日々の業務に役立てて

ことも初めて知り、改めてカウコンフォートの重要さを認識しました。搾乳実習では第一牧場と第二牧場で異なる牛舎と搾乳方式で学生の方たちと実習を行いました。全てが初めての体験で、事前に搾乳理論で学んだことを実践しようとしてもうまくいかず、前搾りの時は腰が引けてしまっていました。ただ回数を重ね学生の方たちから搾り方のコツや牛それぞれの性格、特徴を覚えてもらい徐々に搾乳に慣れることができました。しかし、ミルクカーを装着するまでの作業を目安の1分で終わらせることは到底できず、この作業を毎日早朝と夕方に行う大変さを知ることができました。搾乳と並行してエサやりや除糞なども行い、毎回の実習で時間が過ぎるのがとても早く感じました。

5日間で多くのことを教えてくださった酪農大の先生、学生の方々がとうございました。今回の研修で学んだことを今後の業務に活かしていきたいと思えます。

小椋 一樹（蒜山事務所）

小椋 一樹（蒜山事務所）

この度、中国四国酪農大で開催された酪農フィールド研修に参加させていただきました。普段は事務所です仕事をしているため5日間の研修で酪農の現場についての理解を深

めることを目標とし研修に臨みました。

牧場実習では、第一牧場と第二牧場の飼育方法と牛種が異なる牧場を体験することができました。つなぎ飼育方式の第一牧場ではミルクカーの準備や使い方、搾乳手順を教えてもらいながら実習をしました。実習前に搾乳理論で模型を使い前搾りとミルクカー装着の練習をしてから実習を受けたのですが、実際は牛が動いた、乳頭の高さや向きなどが一頭ごとに違っていているため、前搾りからミルクカーの装着までに時間がかかってしまうこともありましたが、搾乳理論でも教わったことでしたが、実践



後列左から 杉本・田中
前列左から 小椋・桑畑（島根中酪）・菱川校長・安藤

することの難しさを改めて感じました。フリーストール方式の第二牧場はパーラーでの搾乳なので、最初にジャージーを移動させる必要があります。なかなか進んでくれない牛に苦戦しながらも学生さんからのアドバイスを受けて、なんとかパーラー前まで移動させることができました。パーラーでの搾乳が終われば今度は、牛をストールの方へ移動させるようになるのですが、搾り終わった牛が通路で合流し出られなくなることや進みが遅い牛と後から来た牛に挟まれるなど焦る場面もありましたが、無事に作業を終わらせることができました。

また、講義の方も搾乳理論、飼養管理学、家畜衛生など幅広い専門分野や酪農の歴史や現状について学ぶことができました。牛の健康維持のための飼料設計や必要な栄養素、胃の持つ機能、家畜伝染病予防法の概要などとても詳しく解説していただきました。

最後になりましたが、今回の酪農フィールド研修で実際に牛に触れたり、現場で作業したり、講義で基礎知識を学ぶことで改めて農家さんの仕事や酪農への理解が深まる貴重な経験をさせていただきました。また、5日間のフィールド研修の中で

理事 会 報 告

令和5年7月31日、第275回理事会を理事11名、監事3名が出席し、開催した。

長恒組合長より酪農一般情勢等について報告された。その後、次の事項を協議し、決定した。

指導してくださった担当の先生や学生の皆様には感謝申し上げます。研修中に教わったことや感じたことを思い返ししながら農家さんを支えていけるよう日々精進していきたいと思っています。

○令和5年度生乳需給安定化対策について

令和5年度6月の生乳需給安定化対策の進捗状況等について報告した。

○資産査定規程等の一部改正について

内部けん制を機能させるため、「特別対策室」は1次査定を行うこととし、「総務部」を1次査定の結果を検証する第2次査定部署とする変更を承認した。

○組合員への乳製品詰め合わせの送付について

今年度の全戸巡回は見送りとしたが、組合員への乳製品詰め合わせを送付することとした。

○議事録閲覧・写真等請求事件着手金等の支払いについて

議事録閲覧・写真等請求事件の訴状に対応するため顧問弁護士に委任し、着手金を支払うことを協議し、承認した。

○報告事項

第1四半期苦情等の報告について、第1四半期の監査日程について、中国生乳販連「生乳廃棄被害救済制度」について、きびじ酪農運輸(株)経営継続対策について、畜産振興事業補助金について、緊急補填金について、県畜産共進会について、組合員数の状況について、第10回総会1号議案取り下げのお詫び等について報告した。

人 事

異動

(令和5年8月1日付)

兼宗 修平(事業本部購買課)

(事業本部購買課(兼))

高橋真理子(事業本部流通課) 津山事務所

採用

採用

(令和5年9月1日付)

早水 美樹(事業本部購買課)

(臨時)

お 礼

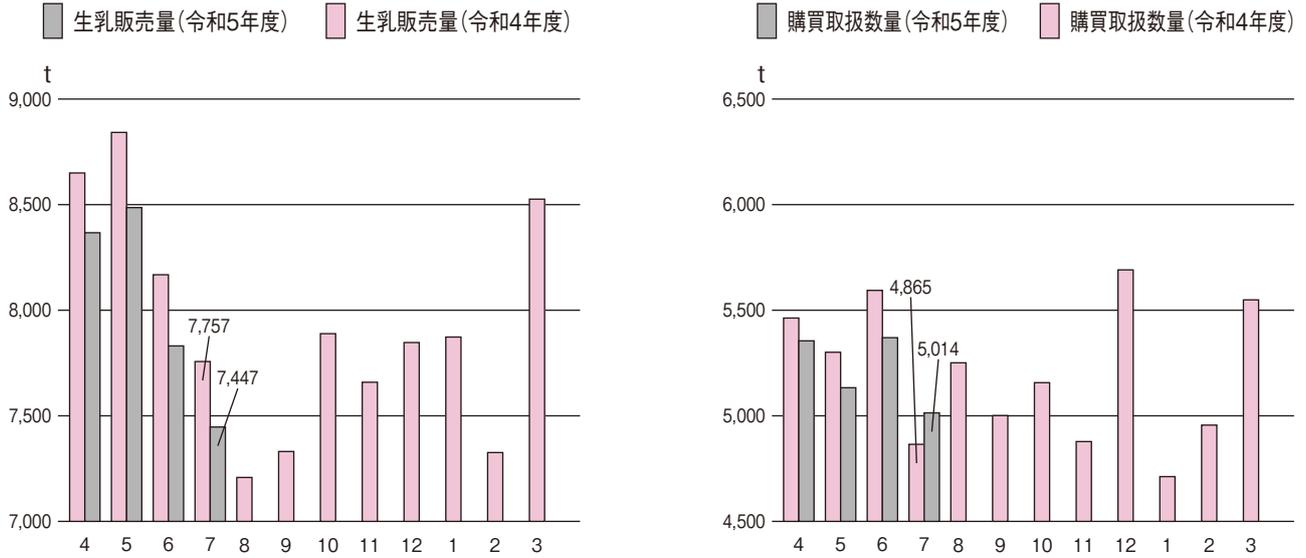
このたび、岡山市 延藤久美様より香典返礼金として、(一財)おからく教育振興会に金一封を寄付いただきました。

事業主旨に従い、有効に活用させていただきます。ありがとうございます。



よろしくお願いたします。

おからく事業実績



生乳統計

※中央酪農会議速報より抜粋

地域	月	生産量(トン)	用途別処理量(トン)			前年比(%)			
			飲用乳等向け	乳製品等向け	その他	生産	飲用	乳製品	その他
全国	7	575,848	297,279	132,979	145,590	94.9	95.8	92.4	95.5
	4~7	2,350,552	1,172,999	602,104	575,452	95.1	95.5	92.7	96.9
岡山県	7	7,420	7,251	93	76	95.9	96.4	68.4	91.6
	4~7	32,080	30,477	1,224	379	96.2	96.9	81.4	91.5
北海道	7	336,852	76,877	119,055	140,920	95.4	98.1	93.8	95.5



主な行事

9月

- 7日 蒜山地区全体交流会
- 20日 管理職会議
- 21日 蒜山地区乳牛共進会
- 26日 牛乳大好き絵画コンクール
審査会
- 27日 牛乳・乳製品利用
料理コンクール書類審査会
- 29日 理事会

10月

- 2日 現物監査
- 14日 岡山県畜産共進会(～15日)
- 21日 牛乳・乳製品利用
料理コンクール岡山県大会
- 24日 管理職会議
- 31日 理事会

北海道初妊牛価格

8月については、例年であれば秋分晩に移行し引き合いが強まる時期となるものの、全国的な猛暑による暑熱事故への警戒感や出回り頭数の増加も重なり、平均価格は税込42万円(前月比2万4千円安)と弱含みで推移しました。

9月については、出回り頭数が増加する中、暑熱期を終えて更新需要が強まる時期となるものの、生産費の高止まりや猛暑が長引く懸念もあり、相場は保ち合いで推移することが予想されます。